

スライド1

地域の活力を生み出す創業企業
～ 新規開業企業の成長と課題 ～

第1部 研究報告「創業企業はどのような課題に直面するのか」
【開業後の課題②】業績によって異なる課題

日本政策金融公庫 総合研究所
研究員 藤田 一郎

スライド2

1 本報告の概要

- 「新規開業パネル調査」から、開業後の業績の推移や経営課題の変化などをみる
- 構成
 - ① 調査の概要
 - ② 分析対象の属性
 - ③ 開業に対する自己評価
 - ④ 業績の推移
 - ⑤ 直面する経営課題
 - ⑥ まとめ

スライド3

2 新規開業パネル調査とは

- 調査対象
2011年に開業した企業
(2010年10月から2011年12月の間に日本政策金融公庫国民生活事業をご利用
いただいた新規開業企業から抽出)
- 調査方法
第1回調査に回答した企業に対して、**毎年アンケートを実施**
- 調査時点
第1回調査 2011年12月末時点
第2回調査 2012年12月末時点
第3回調査 2013年12月末時点
第4回調査 2014年12月末時点
第5回調査 **2015年12月末時点 (2016年2月に実施予定)**
- 本報告の分析対象
各調査時点(第1回~第4回)の月商(売り上げ)をすべて回答した企業 755社

スライド4

3 分析対象の属性(1) ~個人経営が約7割

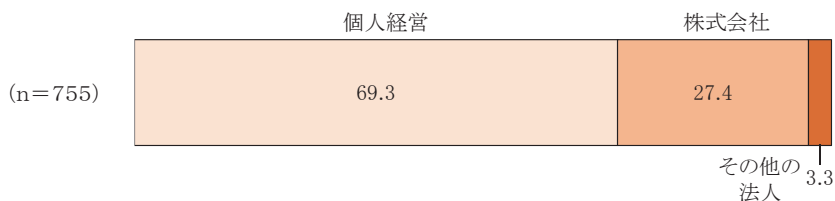
- 開業時の業種

(n=755)
(単位:%)

建設業	製造業	情報 通信業	運輸業	卸売業	小売業	飲食店 宿泊業	医療、 福祉	教育、 学習支 援業	サービ ス業	不動産 業	その他
6.2	3.2	0.8	2.3	5.4	9.3	15.9	20.1	3.0	29.4	3.6	0.8

- 開業時の組織形態

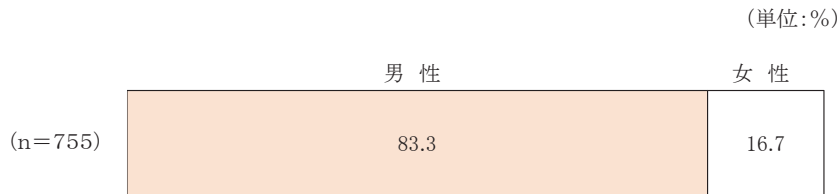
(単位:%)



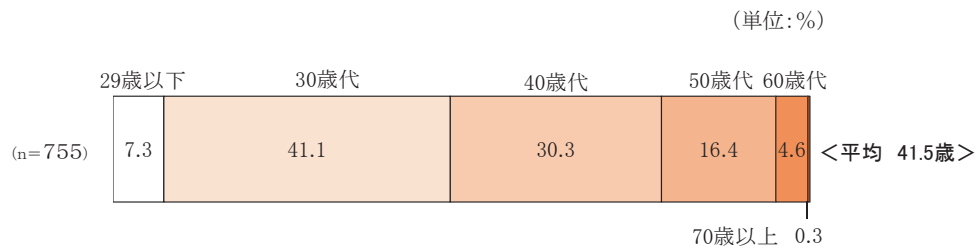
スライド5

4 分析対象の属性(2) ~平均年齢は41.5歳

○ 経営者の性別



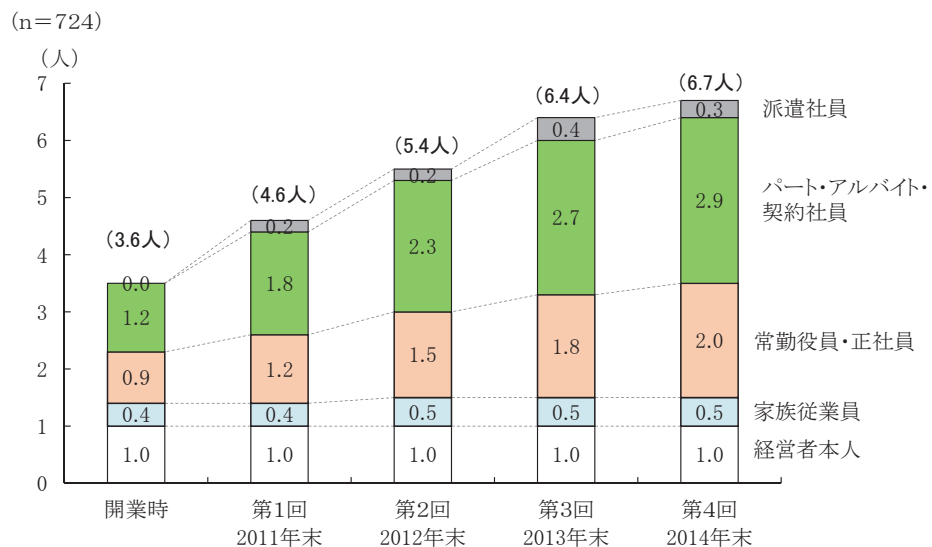
○ 経営者の開業時点の年齢



スライド6

5 分析対象の属性(3) ~順調に増加

○ 従業者数の推移

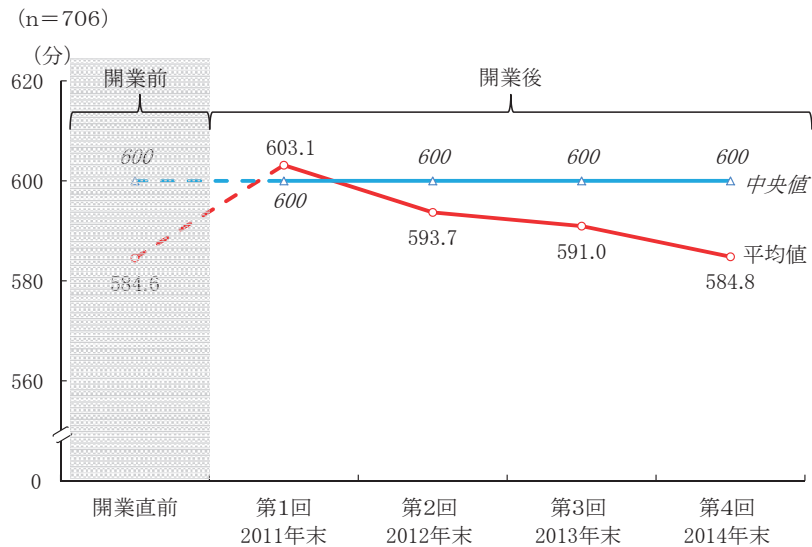


(注) 各時点の従業者数をすべて回答した企業のみ集計。

スライド7

6 分析対象の属性(4) ~就業時間は徐々に減少

○ 経営者の1日あたり就業時間の平均

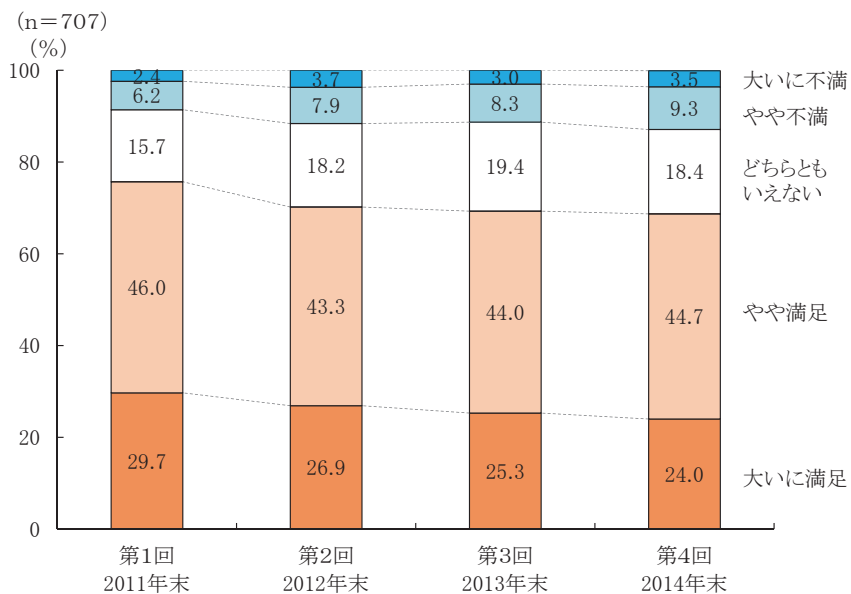


(注) 各時点の就業時間をすべて回答した企業のみ集計。

スライド8

7 開業に対する自己評価(1) ~約7割が満足

○ 総合的な満足度

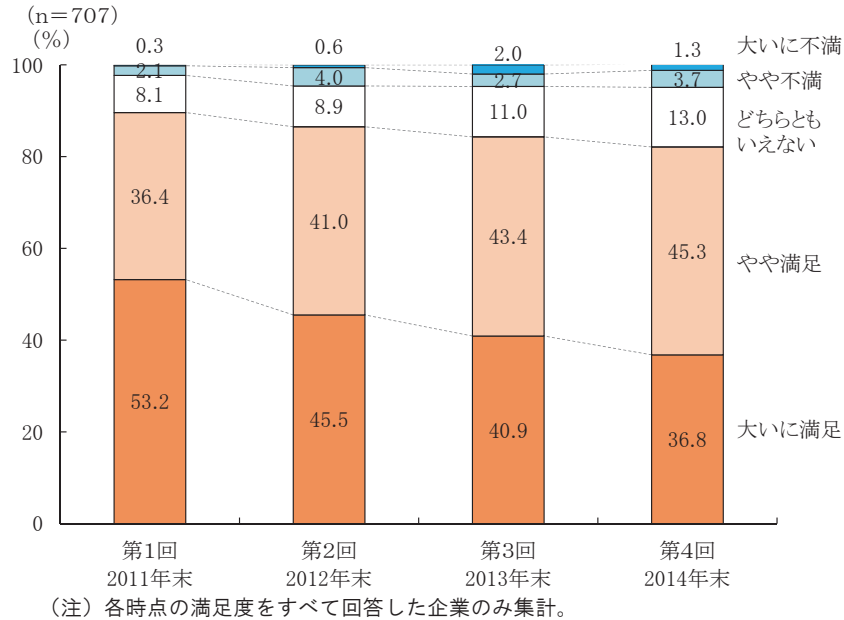


(注) 各時点の満足度をすべて回答した企業のみ集計。

スライド9

8 開業に対する自己評価(2) ~8割超が仕事のやりがいに満足

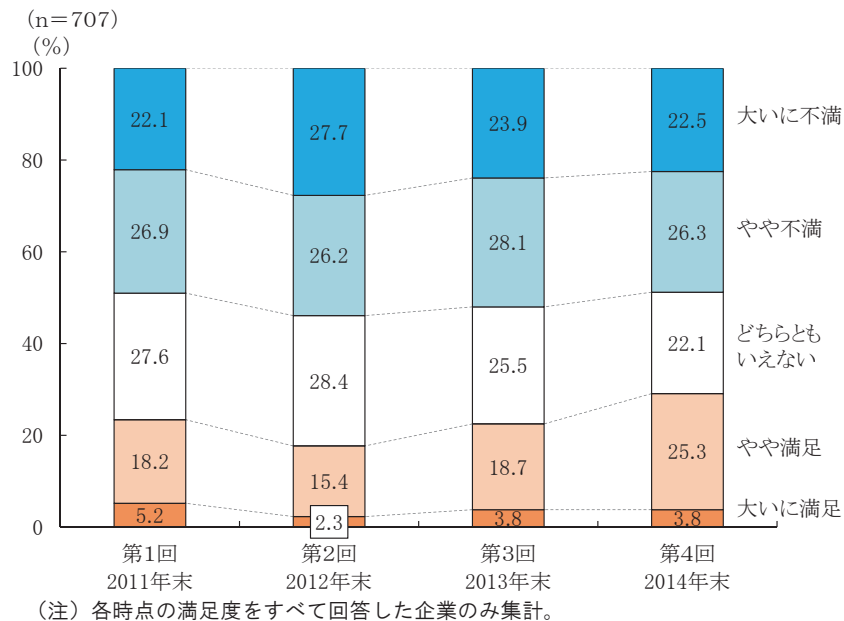
○ 仕事のやりがいに対する満足度



スライド10

9 開業に対する自己評価(3) ~約半数が収入には不満

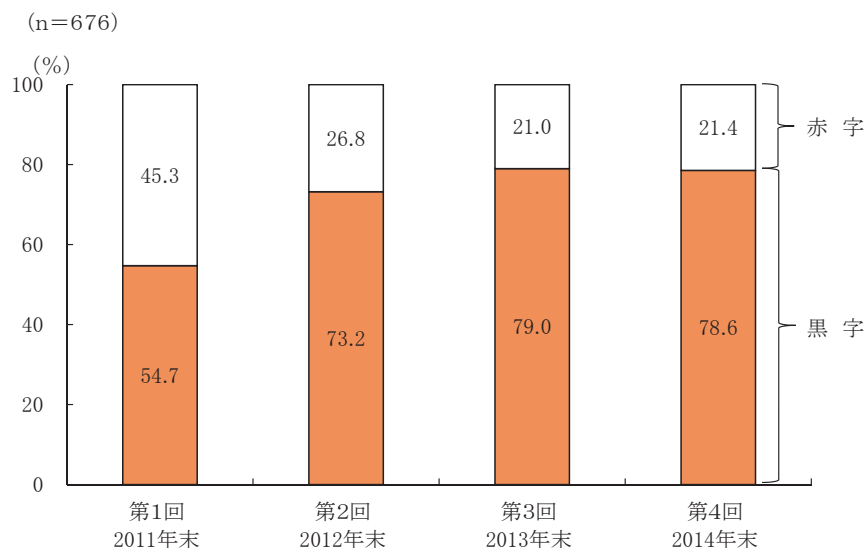
○ 収入に対する満足度



スライド11

10 業績の推移(1) ~開業から4年で約8割が黒字

○ 採算の推移

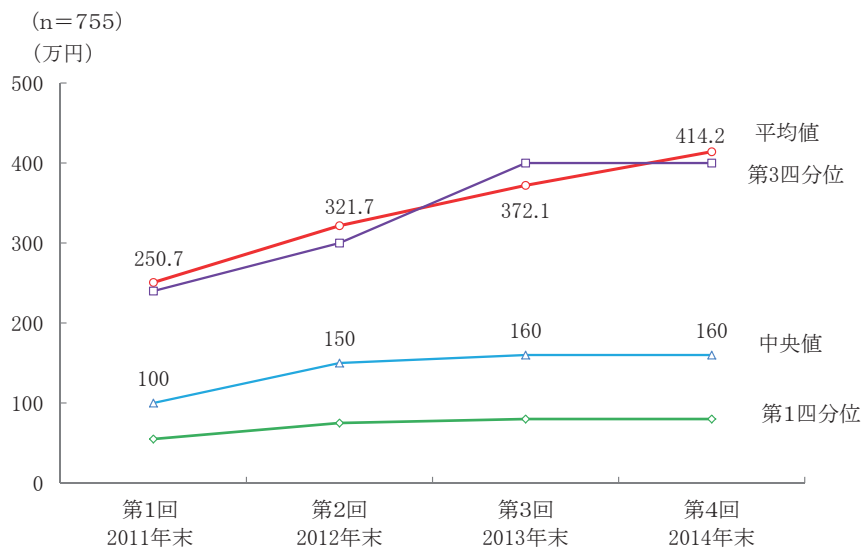


(注) 各時点の採算状況をすべて回答した企業のみ集計。

スライド12

11 業績の推移(2) ~順調に増加するも企業間にばらつき

○ 平均月商の推移

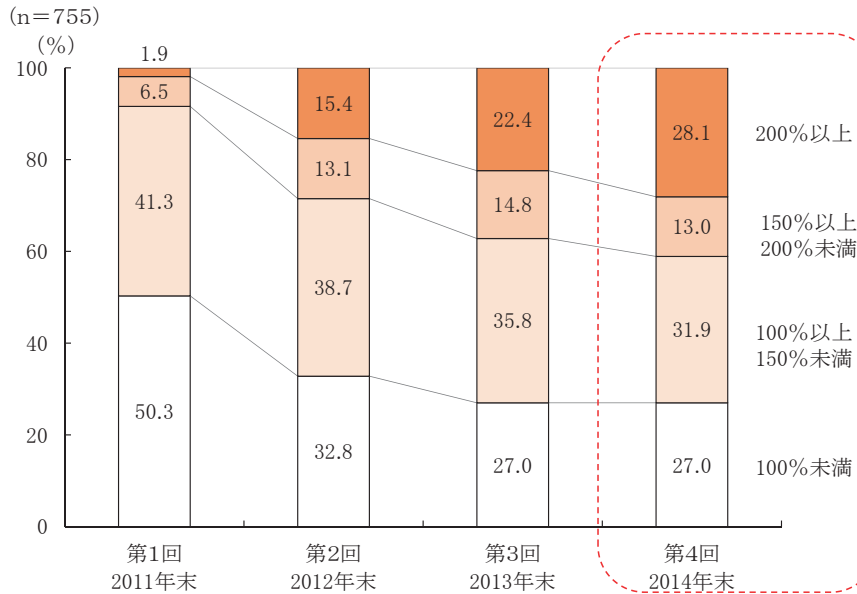


(注) 第1四分位とはデータを小さい順に並べたときの、小さい方から25%目の値、第3四分位は75%目の値を指す。

スライド13

12 業績の推移(3) ~3割弱が開業前の予想を下回る

○ 開業時点の予想月商達成度合い

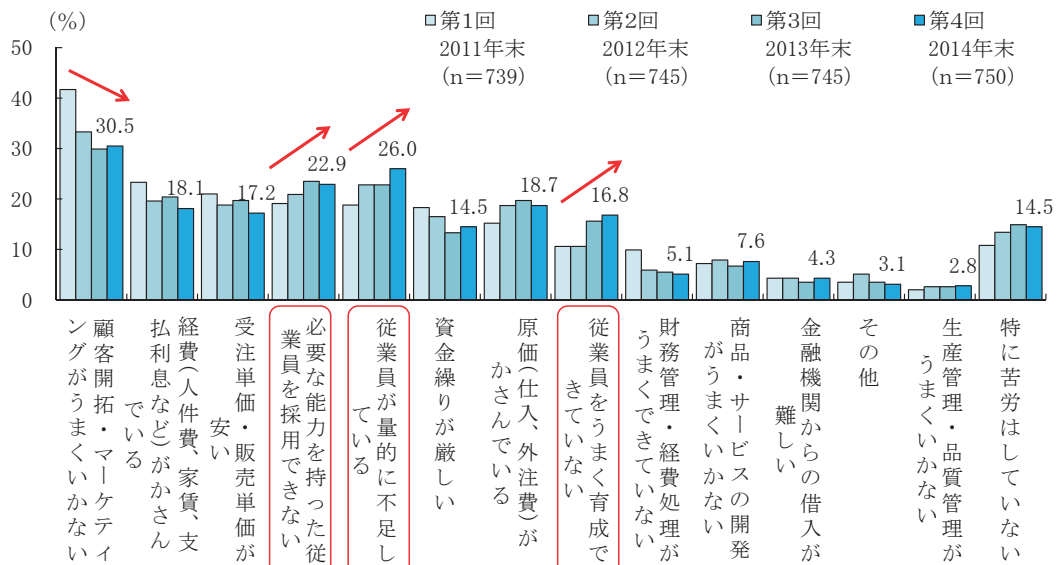


(注) 開業時の予想月商と各時点の月商を比較したもの。

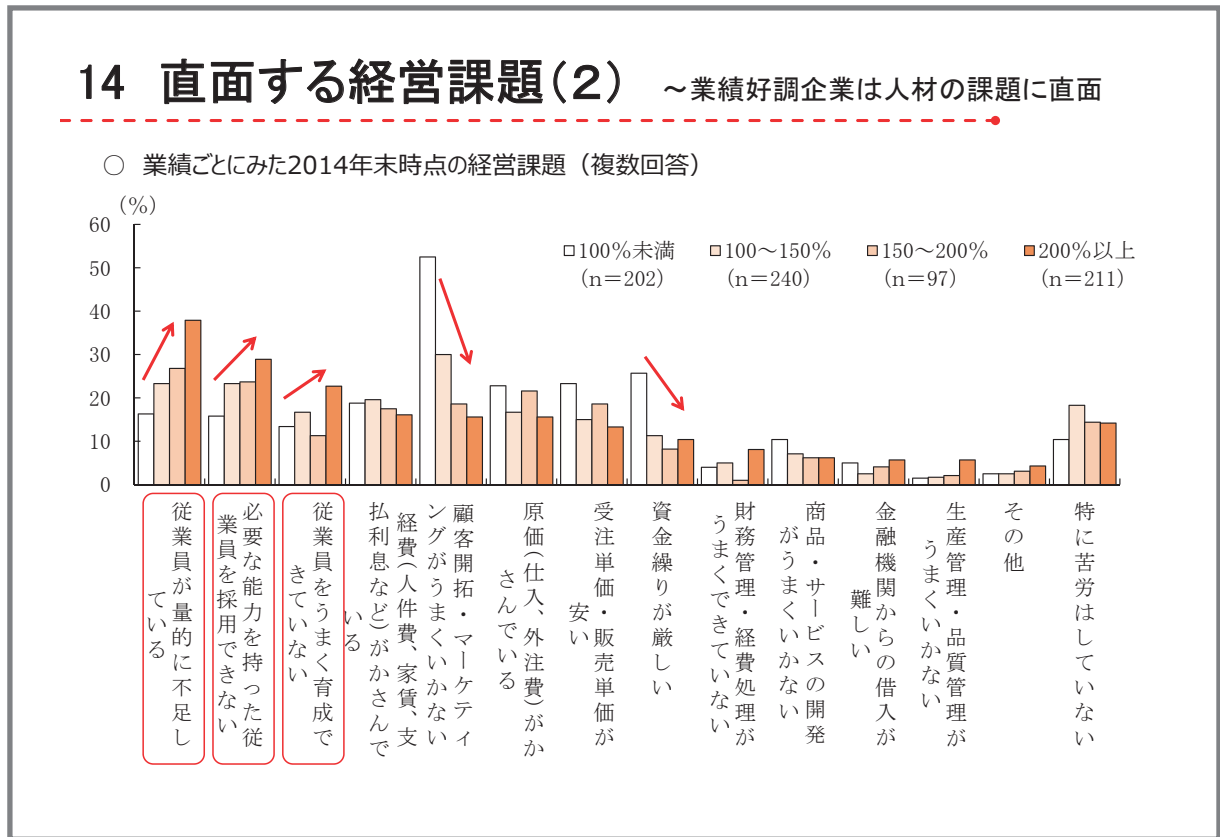
スライド14

13 直面する経営課題(1) ~「顧客開拓・マーケティング」は低下傾向

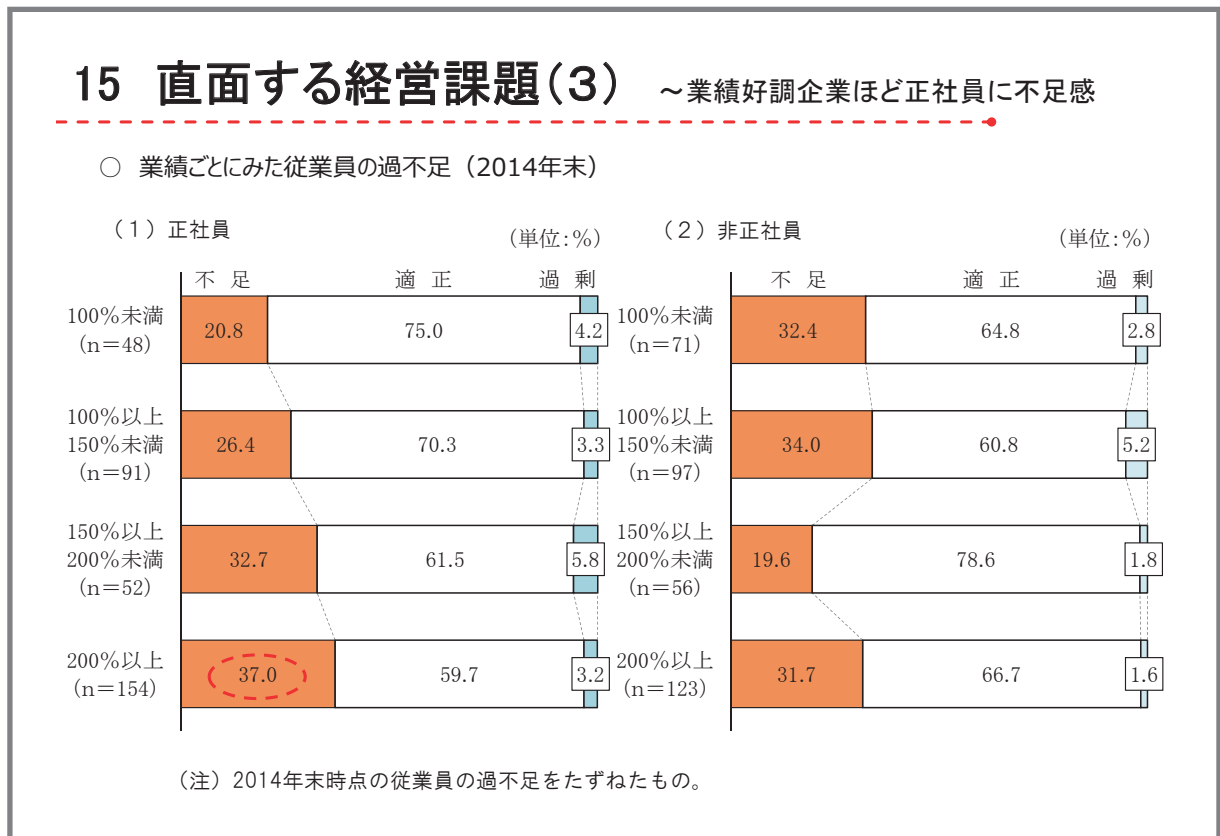
○ 経営課題の推移(複数回答)



スライド15



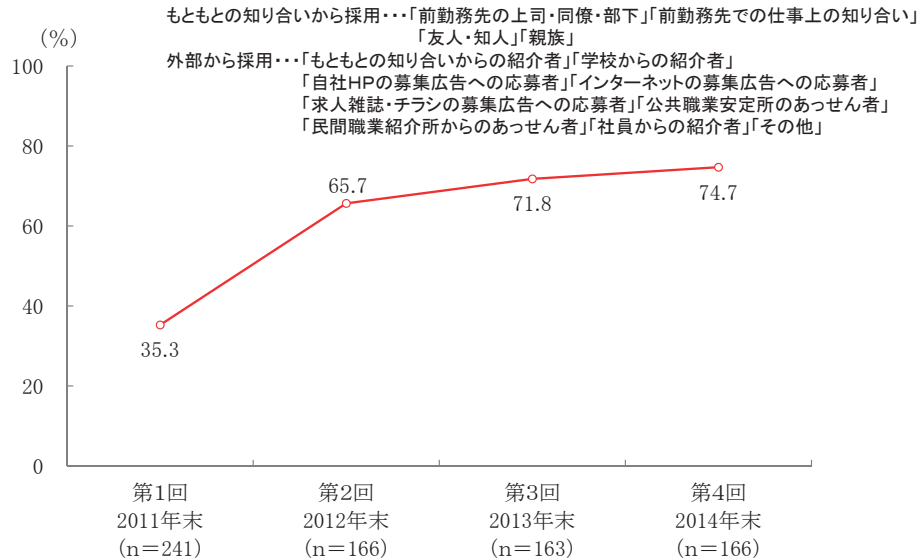
スライド16



スライド17

16 直面する経営課題(4) ～外部からの採用が年々高まる

○ 常勤役員・正社員における外部からの採用比率の推移

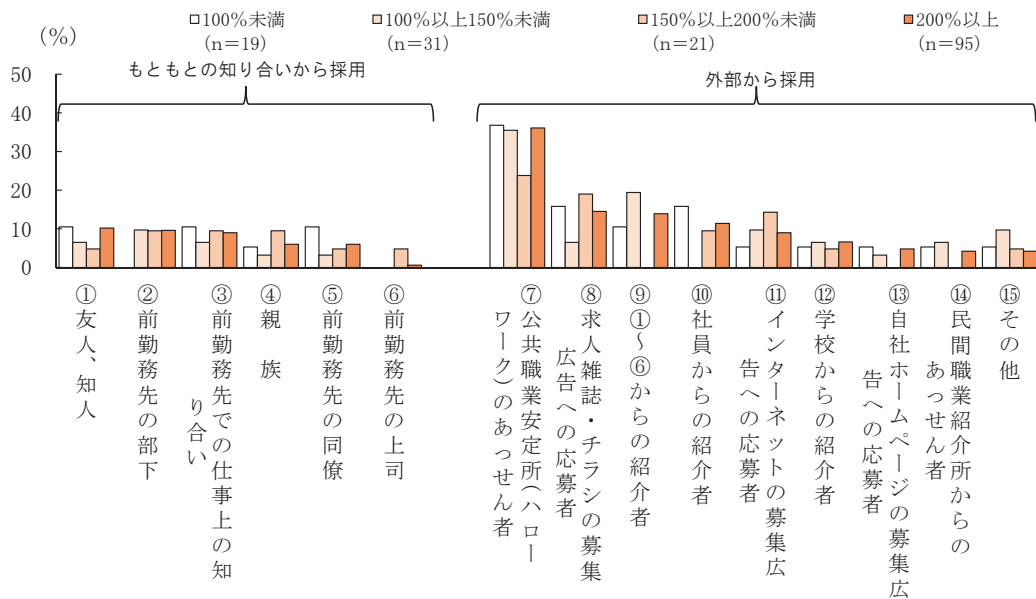


(注) 「常勤役員・正社員」を新たに採用した企業のうち、「外部から採用」した企業の割合を示したものの。

スライド18

17 直面する経営課題(5) ～公共職業安定所からのあつせんが多い

○ 業績ごとにみた正社員の採用方法 (2014年末、複数回答)

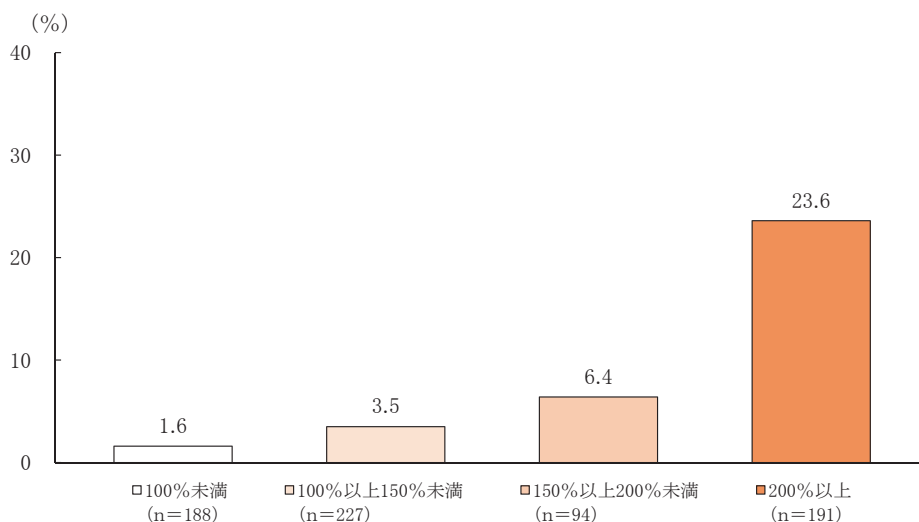


(注) 「200%以上」のグループについて多い順に並べている。

スライド19

18 直面する経営課題(6) ~業績好調企業は非正社員からの登用も

○ 非正社員から正社員への登用（2014年末）

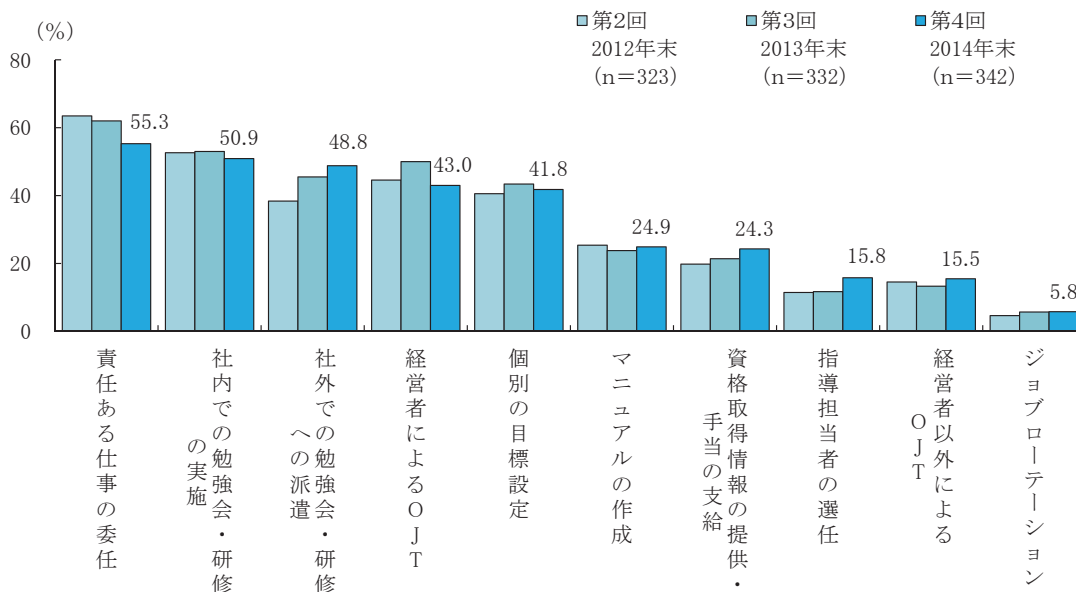


(注) 2014年に「非正社員から正社員への登用があった」企業の割合を示したもの。

スライド20

19 直面する経営課題(7) ~「責任ある仕事の委任」が最も多い

○ 正社員育成のための取り組み（複数回答）

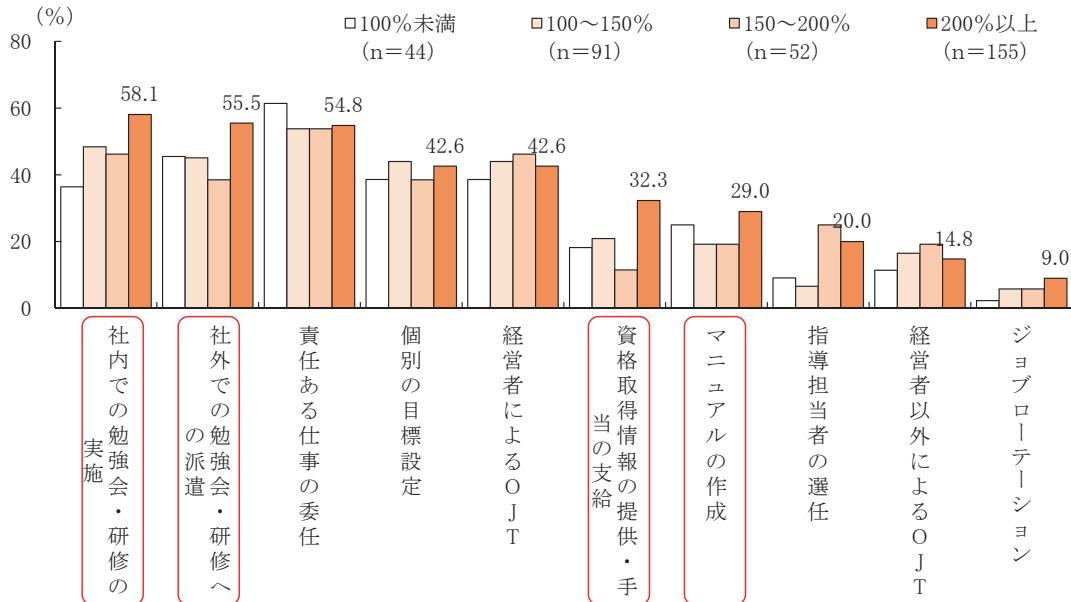


(注) 第1回調査ではたずねていない。

スライド21

20 直面する経営課題(8) ~業績達成度合いによって取り組みに差

○ 正社員育成のための取り組み (2014年末、複数回答)



スライド22

21 まとめ(1)

- 「開業に対する満足度は総じて高いが、収入面には不満もみられる」
 - 2011年に開業した企業のうち、7割以上が開業したことに満足している。
 - もっとも、「収入」に満足している割合は3割弱で、約半数が不満をもっている。
- 「業績は伸長しているが、そのペースにはばらつきもみられる」
 - 開業4年目の時点で78.6%の企業が黒字。
 - 平均月商は開業時から増加しているが、そのペースには企業間のばらつきもみられる。
 - 開業4年目の時点で月商が開業時の予想を上回っている企業が多数ある一方で、開業時の予想を達成できていない企業も27.0%存在する。
- 「業績の達成度合いによって直面する経営課題は異なる」
 - 開業時の予想月商を達成できていない企業は、「顧客開拓・マーケティングがうまくいかない」「資金繰りが厳しい」といった課題を掲げている。
 - 他方、予想月商を達成できている企業は、「従業員が量的に不足している」「必要な能力を持った従業員を採用できない」「従業員をうまく育成できていない」といった「人材」に関する課題に直面している。
 - 予想月商を達成できている企業ほど、正社員の不足感が強まっている。

22 まとめ(2)

- 「正社員の採用について戦略的な検討が必要」
 - 正社員の採用にあたっては、年を追うごとに外部からの採用比率が高まる。
 - 外部からの採用方法は、「公共職業安定所（ハローワーク）からのあっせん者」が最も多い。また、「ももとの知り合いからの紹介者」「社員からの紹介者」も相対的に多い。採用にかかるコストはできるだけ抑えたいという思いがうかがえる。
 - 予想月商を達成している企業では、そうでない企業に比べて非正社員からの登用が相対的に多くみられた。いずれ正社員として登用することを見据えて非正社員を採用することは、量的にも質的にも人手不足を克服する一つの方策となりうる。即戦力としての活躍も期待できる。

- 「正社員の育成には外部資源の活用も視野に」
 - 正社員の育成について、多くの企業が「責任ある仕事の委任」「経営者によるOJT」に取り組んでいる。こうした取り組みは規模の小さい新規開業企業ならではともいえる。
 - 予想月商を達成している企業では、そうでない企業に比べて「社外での勉強会・研修への派遣」や「資格取得情報の提供・手当の支給」を行っている割合が高くなっている。正社員の育成にはこうした外部資源の活用も視野に入れるべきだろう。

地域の活力を生み出す創業企業
～ 新規開業企業の成長と課題 ～

第1部 研究報告「創業企業はどのような課題に直面するのか」
【開業後の課題②】業績によって異なる課題

ご清聴ありがとうございました